

幼稚園・保育所の 経営実態と保護者の意識

— 札幌市と東広島市におけるアンケート結果の概要報告 —

- 米国シカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授（2000年ノーベル経済学賞受賞）らの研究により、質の高い保育や幼児教育が、子どものその後の発達に重要な役割を果たすことが明らかになってきました。ところが日本では、「保育・幼児教育の質」に関する本格的な調査・研究はまだおこなわれていません。そこで、「子どもの健やかな発達に必要な保育・幼児教育の質を向上させるためには何が必要か」「どのような政策が望ましいのか」といった課題の検証にかかわる基礎データを得るため、2013年9月にアンケート調査を実施しました。
- 調査の対象は、札幌市と東広島市のすべての公立・私立の幼稚園、認可保育所、認定こども園、認可外保育所。これらの施設長ならびに5歳児の保護者です。その結果、95カ所の施設長（札幌62、東広島33）、約1,800人（札幌約1,300人、東広島500人）の保護者の方々から回答がありました。快くご協力いただいた方々にあらためて心からお礼申しあげます。
- その集計結果の概要をご紹介します。ゲストによるコメントを交えながら、参加者の方々と意見交換や質疑応答をおこないます。関係者の方々の多数のご参加をお待ちいたしております。
- この調査は、2012年度文部科学省科学研究費補助金〔基盤研究C〕「就学前教育の質的保障と子どもの教育格差に関する研究」（研究代表：野崎祐子）の一環として実施したものです（一部を広島大学地域経済システム研究センター研究費で補完）。



● 日 時 ● 2014年1月31日（金）

● 会 場 ● 広島ガーデンパレス 2階「雅」

広島市東区光町1-15 [広島駅新幹線口から徒歩5分]

● 内 容 ●

13:00 開場

13:30 報告

野崎祐子 広島大学地域経済システム研究センター助教

14:10 ゲストのコメント

難波元實氏 認定子ども園さざなみの森（東広島）園長

大西慶一氏 大阪女子短期大学幼児教育科主任教授

14:40 意見交換・質疑応答

参加者の方々、ゲスト、報告者

15:00 閉会

● 入場料 ● 無料、先着50人程度

※お問い合わせ、申込方法は裏面をご覧ください。

公開研究会

「幼稚園・保育所の経営実態と保護者の意識」

参加申込用紙

参加ご希望の方は、1月24日（金）午前中までにfaxまたは電子メールでお申し込みください。電子メールの場合、内容が分かれば書式は問いません（先着50人程度、無料）。「広島大学地域経済システム研究センター」で検索して、同センターのホームページから申込用紙をダウンロードすることもできます。

団体名（個人でご参加の場合は空欄）

電話番号または電子メール（団体でご参加の場合はどなたかお一人）

お名前	所属・役職

※この情報は、今回の公開研究会の受付以外の目的で使用することはありません。

F a x 番号 （ 0 8 2 ） 2 4 9 - 4 9 9 1 電子メール ynozaki@hiroshima-u. ac. jp

[お問い合わせ] 広島大学地域経済システム研究センター

広島市中区東千田町1丁目1-89

担当：野崎祐子 tel. (082) 542-6992

